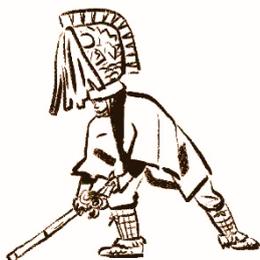


## 春を迎える準備

校長 工藤 誠志



先日、鳥谷部えんぶり組の方々に来校いただきえんぶり鑑賞会を実施しました。えんぶりは、「太夫（たゆう）」と呼ばれる舞手が馬の頭をかたどった華やかな烏帽子を被り、頭を大きく振る独特の舞が大きな特徴です。稲作の一連の動作である種まきや田植えなどを表現した動作を見て、私は舞いの迫力を感じました。また、舞いの合間に行われる子供たちの可愛らしい祝福芸からも楽しくうれしい気持ちでいっぱいになりました。えんぶりがその年の豊作を祈願するための祭り

で「期待」「願い」が込められていることを感じました。

さて、今年度1年間のまとめをする3月になります。お子さん自身は、学級や学年でどんな勉強をしたのか、できるようになったことは何かなどを確かめる場面が増えてきます。「振り返る」ことによって、自分が立てた目標を達成できたか、近付けたかを確認することになります。と同時に、まだできないことに気付く機会にもなりますね。この振り返りによって、次の年度の始まりとなる4月の準備につながっているのです。特に、参観日や面談で確認していただいたお子さんの姿の他にもっともっとできるようになったことやもう少しできそうなことがたくさんあります。ご家庭や施設でもお子さんに聞いてみたり、試してみたりして探してみるのもいいでしょう。できるようになったことはお子さんもご家族もうれしい気持ちになります。

そこで提案ですが、お子さんの成長を確認した後に勉強や読書や手伝い等のご家庭で取り組む3月の目標を一つ設定してみてはいかがでしょうか？目標としたいことをリストアップしておいて、その中でも「すでにほぼできていること」を目標にしてお子さんと相談してみてください。私たちは、お子さんにとって「まだ難しいこと」や「大人に言われたらできること」を最初から目標にしがちです。それでは達成感が得られにくいので気を付けてください。レベルの高い目標で意気揚々としているお子さんがいますが、できなかったときに大きなショックを受けて、しばらく落ち込んでふさぎ込む場合もあります。家族も「できたね」「また頼むね」と応援しやすい内容や目標がベストです。もともとある程度身に付いていたことであれば、小さな歩みで簡単です。着実に成功しながら取り組むことができるのがいいですね。大事なことは、「簡単なことからスモールステップで」なのです。

この目標が4月からスタートする学校の新しい学年での活動や学習にうまくつながっていくといいなあと思っています。日頃から頑張っていることはお子さんの自信となり、さらに「やってみよう」という意欲にもつながります。

春がそこまでやってきています。健康に気を付けて3月を過ごしましょう。

### 何を目標にするか

できること

ほとんど

できていること

もう少しでできること

大人に言われたら  
できること

まだ難しいこと

未経験のこと